

令和4年度 砥粒の日企画 オープンセミナー

日本刀 ～技・美・強さに迫る～

【主催】(公社)砥粒加工学会

砥粒加工学会では、会員、非会員を問わず砥粒加工に関連する技術を紹介・解説する砥粒の日オープンセミナーを開催しております。昨年度の「日本酒」のテーマに続き、今回も日本の伝統をテーマに「日本刀 ～美・技・強さに迫る～」と題したセミナーを企画しました。日本刀は鋼を叩いて鍛えながら形を作り、研ぐことによって切れ味と美しさが与えられます。鋭い切れ味と強靱性という機能性の側面だけでなく、研ぎ抜かれた日本刀の佇まいは美術品としての価値を有します。

本セミナーでは日本刀の技・美しさ・強さについて刀剣作家および研究者の観点からご紹介頂きます。我が国が誇る日本刀の伝統技術とそれに関わる最新の研究を同時に知っていただける企画です。また、会場では講師の刀剣作家により手がけられた日本刀の展示も予定しています。奮ってご参加ください。

- ◆日時： 令和4年10月27日（木） 13時00分～16時00分
- ◆開催方式： 会場参加とオンライン型のハイブリッド形式（申し込み時に選択してください）
- ◆会場： 文部科学省 研究交流センター 茨城県つくば市竹園 2-20-5
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/kouryucenter/
- ◆内容：
 - 13:00～13:10 開催の挨拶 (公社) 砥粒加工学会 企画委員長 水谷 正義 氏
 - 13:10～13:50 「美と技～日本刀～」
筑波鍛刀場 刀剣作家 宮下 正吉 氏
 - 13:50～14:30 「日本刀に隠されていた未来の鋼～強靱鋼の模索～」
国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 設計・創造分野長 井上 忠信 氏
 - 14:30～14:40 (休憩)
 - 14:40～15:20 「日本刀の美しさを科学で表現できるか？」
～新作日本刀の特徴分析と3次元設計の試み～
金沢工業大学工学部機械工学科 教授 畝田 道雄 氏
 - 15:20～16:00 「日本刀は槌（つち）で鍛える。機械部品は粒（つぶ）で鍛える？」
～金属を鍛え接合する微粒子ピーニング技術～
東京都市大学理工学部機械工学科 准教授 亀山 雄高 氏
- ◆定員：80名 現地参加の場合、先着順で定員になり次第締切ります。オンライン参加は定員なし
- ◆参加費：3,000円（学生・生徒（大学院生および未就学児を含む）は無料）。※オンラインも同額です
- ◆申込先：下記のお申込用WEBサイトよりお申込みください。
https://www.jsat.or.jp/OpenSeminar_221027
- ◆申込締切：令和4年10月20日（木）
- ◆注意事項（オンライン参加の場合）：
 - ・ 個人単位でお申込み下さい。
 - ・ ご入金確認後、視聴のURLをお送り致します。
直前のご入金の場合、URLのご連絡が間に合わない場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 講習会の静止画 / 動画撮影、録音は禁止です。
『レコーディング』ボタンで録音することは、法律で禁止されています。
 - ・ 講演の音声、スライドの著作権は、発表者に帰属します。
テキストは当日出席者に電子データにて配布致します。
- ◆問合せ先：(公社)砥粒加工学会 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 セラミックビル 4F
TEL: 03-3362-4195, FAX: 03-3368-0902, E-mail staff@jsat.or.jp